



385 Overdrive MKIIは、ギタリストがそのユニークなブレイクアップとトーンのためにモディファイし、ギター・アンプとして使用してきたビンテージBell and Howell® 385 Filmosound™プロジェクトにインスピライアされています。385はアンプが持つダイナミクスとピッキングレスポンスを再現するため、内部を18ボルト\*で動作させることでそのアンプの魅力を表現しています。385のダイナミクスはベースでも素晴らしいサウンドを奏します！

\*ペダルの電源には9VDC、センターマイナス、100mAを使用してください。

すべての Walrus Audio Pedals に電力を供給するには、アイソレーテッドパワーサプライの使用をお勧めします。  
デイジーチェーン電源は推奨されません。

## CONTROLS

**Bypass:** ペダルのON/OFFを切り替えます。ONの状態でLEDが点灯します。OFFではトゥルーバイパスになります。

**A/B:** A/Bスイッチにより、ボリュームとゲインを別々に設定できます。プリセットのように使えば、特定のパートのボリュームとゲインの変更をスイッチ一つで可能になります。スイッチを押してAかBのボリュームとゲインコントロールのどちらかを選択。LEDの色でどちらのコントロールが使用されているかを示します。（A - 白、B - 赤）

**Volume A:** 設定Aの全体の音量をコントロールします。

**Gain A:** 設定Aのゲインの量をコントロールします。



## CONTROLS



**Volume B** : 設定Bの全体の音量をコントロールします。

**Gain B** : 設定Bのゲインの量をコントロールします。

**Treble** : 高音域の周波数をブーストまたはカットします。ノブが正午の位置でニュートラルになり、ノブを下げるとき高音域がカット、上げると高音域がブーストされます。Treble コントロールはAとB共通であり両方の設定に適用されます。

**Bass** : 低音域をブーストまたはカットします。ノブが正午の位置でニュートラルになり、ノブを下げるとき低音域をカット、上げると低音域がブーストされます。BassコントロールはAとB共通であり両方の設定に適用されます。

**385+ Switch** : スイッチを上に上げると385+モードが有効になり、回路の前段にゲインを追加し、太く飽和したゲインサステインが得られます。スイッチをオフにすると、クラシックな385サウンドが得られます。



## SPECS

Yellow pedal art by [David Hüttner](#).  
Black art by [Josh Yosurack](#).

Input: 1/4インチTSアンバランス、インピーダンス1M

Output: 1/4インチTSアンバランス、インピーダンス10k

True Bypass



